

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆トランプ関税対策で融資要件を緩和 政府、資金繰り支援

・経済産業省はトランプ米政権による関税引き上げへの対応策として、国内企業が政府系金融機関から融資を受ける際の要件を緩和する。関税により売り上げの減少や資金繰りの悪化が予想される場合も支援対象。日本政策金融公庫による中小企業向け「セーフティネット貸付」制度の要件を緩和する。

◆世界の生成AI支出額、25年は76%増 AI対応端末が普及

・米調査会社ガートナーは2025年の世界の生成AIの支出総額が前年比76%増の6440億ドル(約96兆6000億円)になるとの見通しを発表。サーバーやスマートフォンなど端末へのAI搭載が普及し、生成AI支出の8割を電子機器が占める。ガートナーは28年までにほぼすべての消費者向け電子機器市場でAI対応製品が占めると予測。

◆マイナ免許証、導入1週間で11万人 6割は「2枚持ち」

・運転免許証とマイナンバーカードを一体化した「マイナ免許証」を巡り、警察庁は導入から1週間が経過した3月末時点の保有者は11万7589人だったと公表。6割の人が通常の免許証とマイナ免許証を両方持つ「2枚持ち」を選択。2枚持ちは7万3046人で全体の62.1%を占めた。23年末時点の運転免許保有者(8186万2728人)の0.1%に当たる。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆25年度国土省住宅局配分予算 住宅対策に1兆1245億円

・国土交通省は25年度の国土交通省関係予算の配分額を発表。事業ベースで前年度比11.3%増の8兆4318億円を計上し、「国民の安全・安心の確保」「持続的な経済成長の実現」「地方創生2.0に資する個性をいかした地域づくりと分散型国づくり」を3本柱として取り組みを進める。住宅局関係予算では、合計1兆3057億5300万円を計上。

◆2023年度の住宅ローン新規貸出額、20.3兆円に

・国土交通省は2023年度の「民間住宅ローンの実態に関する調査」の結果をとりまとめ公表した。個人向け住宅ローンの新規貸出額は22年度より横ばいで推移し、20兆2816億円となった。金利タイプ別の割合では、金利変動型の割合が継続的に増加し、84.3%(前年度比6.4%増)で最も高くなった。

◆取引先への「支払い遅れ」 建設業は427件で最多—2024年度

・東京商工リサーチは2024年度(4-2月)の「取引先への支払遅延状況」調査の結果を公表。取引先への「支払い遅れ」は累計1149件(前年同期比13.4%増)発生し、3年連続で増加。2月時点で、すでに2023年度の1111件を超えている。月間の平均件数は104.5件で、初めて100件台に。3年連続で前年同期を上回った。

《 注目商品 》

■光の反射を約90%カットする防眩仕様の太陽光パネル

・エクソルは、光の反射を約90%カットするフルブラックデザインの太陽光パネル「低反射(防眩)太陽光パネル」2機種の販売を開始。ガラス表面にほどこしたAG加工により、高密度な凹凸が反射光を分散して眩しさを抑え、従来の太陽光パネルよりも光の反射を約90%低減。



■ABC商会、サイルストーン製洗面カウンター

・天然石の風合いと優れた耐久性の人造石・サイルストーンを使った洗面カウンターシリーズ「クォーツカウンター」に新デザインを追加。天然石の美しさと高い耐汚染性・耐久性、排水金具を隠す排水プレートを備えた洗面カウンター。



■三菱電機、2025年度の店舗・事務所用パッケージエアコン

・店舗・事務所用パッケージエアコン スリムZRシリーズ、スリムERシリーズ、ズバ暖スリムDHシリーズ、ズバ暖スリムHシリーズの新製品を5月12日より順次発売。自動運転「デュアルオートモード」を搭載。「冷やし過ぎ」「暖め過ぎ」を回避し、効率的な運転を実現。

